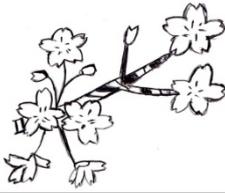


2011年 春

KSKQ

萌もえ風ふう香か



社会福祉法人萌 広報紙 NO.32 2011.4.18 定価 1部150円
編集人 社会福祉法人萌 〒639-1001 奈良県大和郡山市九条町1334
ふれあい工房内 TEL0743-54-6701 FAX0743-54-6731

新たなる出発!! ~各事業部の方針~

4月1日を迎え、前回お知らせしましたとおり、萌10周年記念の1年が始まりました。今までお世話になった方々、これからお世話になるかもしれない方々…多くの方々に感謝をしつつ、各事業所では今まで以上に利用者やご家族の皆様への支援に取り組んでいきます。

昨年4月から組織改編され生活支援事業部、地域活動事業部、就労事業部にわかれて各事業所がまとまり、それぞれの事業を行っています。誌面の都合上、一部抜粋ですが、今年度の各事業部の方針です。付録の組織体制図とあわせてご覧ください。

【生活支援事業部門】

(相談支援事業所6か所、居宅介護事業所4か所、
共同生活援助事業4か所)

- 1) 相談支援事業所では、県下6市12町1村からの相談支援事業の委託を受けて活動しています。個別の相談支援の中から見えてきたニーズを抽出して数値化し積み重ねていくこと、ニーズに基づいて資源を開発していくことに力を入れていきます。特に発達障害者への支援のあり方や家族支援のあり方を検討していきます。
- 2) 居宅介護事業所では、昨年度、利用者の高齢化に対応するため介護保険の事業指定を受けました。今年度はサービス提供責任者が3名体制となり、より質の高いホームヘルプサービスが提供できるようにしていきます。
- 3) 共同生活援助事業では、入居者のより豊かな生活のための支援体制の整備に力を入れてきました。引き続き体制を維持していきます。

【地域活動事業部門】

(地域活動支援センター5か所、広報・啓発事業)

地域活動支援センター5ヶ所では、各エリアでの当事者の孤立を防ぎ、仲間との出会いを大切にし、利用者本位の様々な活動を通じて自分の力を発揮できる取組みに力を入れていきます。部門として、萌フェスタ、萌風香、ホームページ、マインドなら、合同レクなどの広報・啓発事業のとりまとめを行うことにより、各エリアと連携しながら、関係者だけでなく、多くの方々に精神保健福祉についての情報や知識を伝え広める活動を展開します。

【就労事業部門】

(就労継続支援B型事業11か所、
就業・生活支援センター1か所)

- 1) 就業・生活支援センターライクが、法人の事業になりました。利用者の希望を聞きながら、一般就労へと繋げていけるような支援を考えていきます。昨年から実施しているジョブセミナーの開催や各所で職場体験・職場実習が行えるように協力企業の開拓、また評価表を作成し、事業所内・企業先でも活用できるようにします。
- 2) 生産活動については、生駒の新事業所での新事業など、利用者の活動が広がるように検討を重ね、すすめていきます。
- 3) サービス管理責任者会議やグループ会議(主たる事業所と従たる事業所で構成)を毎月開催します。

【本部】

- 1) 法人設立10周年を迎えるに当たって、エリア毎に関係団体や地域の皆さん方に対する感謝の気持ちを込めてイベントを行います。
- 2) 生駒の新事務所の建設を含めて、賃貸料を軽減すると共に法人の経営基盤を固め、後年への備えを進めます。
- 3) 障害者総合福祉法(仮称・24年度施行予定)の動向を見守り、今後の法人運営の方向をじっくりと検討し、将来を見据えた事業運営を検討します。
- 4) 職員の活動に余裕を持たせ、有給休暇の取得を推進します。

東日本巨大地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、一日も早く復興されますことをお祈り申し上げます。

生駒
エリア

ひだまり

コミュニティスペースはなな

パン作りを身近に

はななで焼肉レク♪

ひだまりでは、来年4月オープンのパン工房に向けて、パン作りを身近にするための見学プロジェクトを始めました。

第1回は大阪府枚方市にある社会福祉法人宝桜会さくら事業所に向かいました。さくら事業所は、主に精神障害の方を対象にしています。生産活動はからだにやさしいパン作りと販売、封筒やファイルバッグのタグ付けと箱作りを行っています。今回の参加者はパン作りに興味のある利用者3人、スタッフ1人でした。

事前にミーティングで聞きたいことを話し合っただけで臨みました。作業は8時から始まります。中学校や病院の食堂、老人ホームの昼食に届けているので、できあがりは11時過ぎです。袋詰めを行ない、販売へ出かけます。パン作りは職員3名と利用者1~2名で行なっています。作業に入っている利用者は職員と一緒に自分なりのレシピを作ったりしながら、上達していったそうです。

作業に入ること、なかなかできなかった体調管理が先を見据えて、できるようになったと話してくれました。利用者からは「これからパン作りを練習していきたい！」と前向きな意見が出ました。

これからもパン作りを身近にしていくために、見学会を続けていきます！

2011年3月11日金曜日、「はなな」で焼肉パーティーのレクリエーションがありました。

当日参加は、なんと16人の大人数。普通の日には10人ぐらいの人数です。

用意したホットプレート2枚では当日足りず、フライパンを2枚使用して、みんなんで座る場所もないくらいガヤガヤと焼肉を食べました。焼肉では肉以外に、お手製のポテトサラダを作り、ソーセージ、ホタテ、エビ、しいたけ、キャベツなど盛りだくさん。

私は野菜を切る係でしたが、カボチャを切るのに苦労しました。

500円でおいしい焼肉、ごはんをお腹いっぱい食べ、ジュースも飲めるので、みんなとても満足して楽しそうでした。後片付けでは、ホットプレートの掃除がちょっと大変でした。

でも16人という人数では、「はなな」のパーティーは限界に近く、新しく入所して来るメンバーもどんどん増えていくので、「はなな」をどう仕切っていくのかが、これからの課題だと思いました。(文:篠崎香織)



コスモールいこま

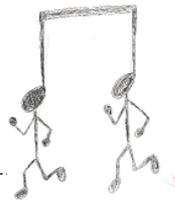


満員御礼!

「トーク&ライブひだまり2010」

3月5日、「トーク&ライブひだまり 2010」(主催:生駒市精神障害者施設後援会)が開催されました。コスモールいこまメンバーは、体験発表や、トーンチャイムの演奏、ギターやピアノの演奏と、大活躍! 115 通回収したアンケート用紙には「メンバーの体験発表が胸に響いた」「トーンチャイムがあったかい感じでよかった」などなど、メンバー出演のステージへの感想が多くみられました。今回のイベントは「ソプラノ歌手:山尾賀洋子さんによるコンサート」をメインに、「平城人婆娑羅舞踏団」の15人によるオープニング演舞、手話サークル「カナナ」の10名による手話歌など、出演者が盛りだくさん。会場はほぼ満員で、席がなく困ったという声もありました。

コスモールいこまにとっても、舞台発表だけでなく、地域の方たちと交流するよい機会となりました。



<お知らせ>

今号から、読者の皆さまにより見てもらいやすく、また、たくさんの情報をお届けできるよう、萌風香の紙面構成を少し変えました。

事業所一覧は、春号に付録としてつけることにしましたので、保管頂き、必要に応じ活用頂けましたら幸いです(各事業所連絡先については、毎号、それぞれのエリア紙面に記載します)。

コスモールいこま (生活支援センター)

Tel ; 0743-73-7000

コスモールいこま (地域活動支援センター)

Tel ; 0743-73-0900

ひだまり

Tel ; 0743-76-1496

コミュニティスペース はなな

Tel ; 0743-73-1050

郡山
エリア

彩食キッチン Bon
&ふれあい工房

春はイベントの季節です

大和郡山市は春になるとイベントが多いです。お城まつりに大和ふれあいマラソンは例年のごとく、今年は郡山を南北に走る道路『藪町(いのまち)線』開通イベントや、イオンモール大和郡山で行われた奈良県社会就労事業振興センターの『ナイスハートバザール』など、3月に入ってから毎週土・日イベントづくしです。ふれあい工房と彩食キッチンBonは生産活動フル回転です。

『ナイスハートバザール』は3月12日・13日に行われ、両事業所とも出品したものが完売！！嬉しい声が利用者から聞こえてきます。販売員としてお客様に接客し、物が売れることで喜びを感じられる、まさしく仕事の醍醐味なのかもしれません。そして地域の人たちにも知ってもらえることが障害の理解にもつながります。

また、利用者が無理なくイベントに出られるように、ふれあい工房とBonで分担しながら負担軽減を図っています。ただ、休みがなく疲れ気味に…。でも、完売で疲れ半減！！

日頃お世話になっている地域への感謝もこめて、これからも地域イベントに参加していきます♪



3 支援センターだより

第4号でした！

今回は、「地域生活支援フォーラム 4」の報告「ハートフルこおりやまの紹介」「障害者自立支援法改正について」です。市役所・公民館・市内の福祉施設などに置いてあります。市のホームページでも見ることができます。ぜひご覧ください♪

ふらっと相談

「ありがとう、 そしてがんばって湯川さん！」

ふらっと

このたびの異動で、職員の湯川さんがふらっとを離れます。それぞれの人の湯川さんへの思いをインタビューすると…

「優しい人」「過去の辛いことは水に流そうと言われてうれしかった」「何でも相談できた。いなくなってしまうと寂しい」「一緒に年賀状を作った」「プラスに考えるようにアドバイスしてくれた」「いてくれるだけで和やかになれた」「ほわ～んとしたところとピリッとしたところがあって頼もしい存在」…など、いろんな声が挙がりました。湯川さん、今までいろいろありがとうございます



ございます。ななつぼしに行ってもがんばってね！
(文・榎田伸也 画・野々部利子)

さくらんぼ

さくらんぼ便り

現在さくらんぼでは利用者とヘルパーが合わせて約100名おり、一週間で100名の方がそれぞれの出会いをされていることとなります。相性のよし悪しはありますが、概ね皆さんはよいお付き合いをされています。

ホームヘルプサービスは、利用者の居宅で掃除や洗濯、買い物・調理のお手伝いをする事によって、利用者が生活し易くなるためのサービスです。又、図書館や博物館へ行きたいとか、講演会へ行きたいときに利用することによって利用者の生活と社会を直接つなげる役割をしています。さらに、通院に同行して、安定した状態を保つためのサービスも提供しています。

ご利用に当たっては、市町村の窓口、もしくは最寄りの相談支援事業所にご相談下さい。

ふらっと (生活支援センター)	Tel ; 0743-54-8112
ふらっと (地域活動支援センター)	Tel ; 0743-54-3977
ふれあい工房	Tel ; 0743-54-6701
彩食キッチン Bon	Tel ; 0743-58-5572
さくらんぼ (ホームヘルプステーション)	Tel ; 0743-54-0800

西和
エリ

まーぶる

まーぶるが

3周年を迎えました！

まーぶるが3周年を迎え、みんなで何かしようとミーティングで話し合い、アンケートを取り、手巻きずしパーティーに決定しました。費用はまーぶる基金から全額補助なために無料です。当日はお世話になった人も呼ぼうということで、日頃お世話になっているヘルパーさんやボランティアの先生に招待状を書きました。

当日は20名程の参加ということでまーぶるが狭く感じるくらいにメンバーさんが集まりました。にぎやかさも倍以上でした。わいわいと大勢で食事の準備を行い、あっという間に準備ができました。メンバーさんからのとんちのきいた素敵な挨拶から始まって場が和んだところで手巻きずしパーティースタートです。机には美味しそうなサーモン、マグロ、ホタテなどが並び、おみそ汁や茶わん蒸しも美味しく頂きました。手巻きずしを食べた後はお菓子を食べながら、みんなで一言ずつ話しました。まーぶるへの思いをみんなで共有できたのは良かったです。

また、3周年の記念にまーぶるみんなで寄せ書きをし、まーぶるLOOK増刊号として発行しようかと話し合いです。5周年10周年とお祝いしていけたらいいですね。みんなの想いのつまった素敵な1年1年を過ごしていけたらと思います。



花より団子♪

らそら

あま〜いにおいのたちこめているらそら。外は寒空ですが、梅がきれいに咲き誇っています。そんな外の景色には目もくれず、みんながわくわくしながら待っているのはやはり団子！どんな味で食べようか目がキラキラしています。目の前にはきなこ、黒蜜、フルーツ、おしるこが並んでいます。それぞれ好きなトッピングで食べるのを待ち構えています。ことのはじまりは先月のミーティング。そろそろお花見に行きたいなぁと声があがってきていました。でもまだ寒いし、花も咲いてないかもという声もちらほら。そんなところに調理スタッフから「白玉が余っているんだけど使う？」と声がかかりました。その一言にみんなで食いつき、花見そっちのけで「何味がよいかなぁ？」「クリームあんみつしたい！」「みたらし団子ってできるのかな？」「3色団子も捨てがたい！」と色々なアイデアの花が咲きました。迎えた当日。みんなで協力しあいながらトッピングの材料を作っていきます。「おいしくできるかしら？」「さっきお昼ごはん食べたけど食べられるかな？」「今日は晩御飯食べないでおこう！」「これとこれを組み合わせたらいいんちゃう？」とトッピングがそろそろまでに色々な花が咲きました。

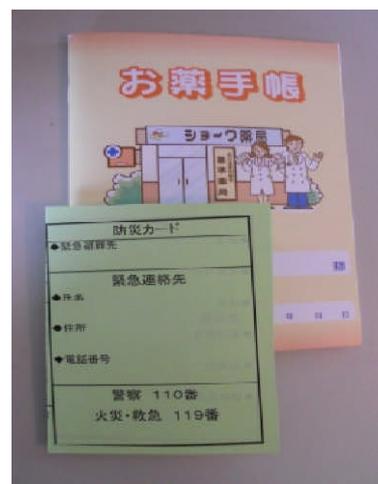
いざ、食べるとなると、黙々と好きな味で食べていくみんな。話の花も咲かず、梅も見ずひたすら目の前の団子を食べていました。食べ終わると急ににぎやかになり「おいしかったねー！」「食べられないかもと思ったけど食べれた！やっぱり別腹やったわ」などなど。そんな話をしあいながら来月はお花見できるかなと声もちらほらあがっていました。最後に「やっぱり晩御飯は食べるかもー」といいみんなに笑いの花が咲きました。今回は色々な花が咲いたらそらのレクでした。

ななつぼし (生活支援センター) Tel: 0745-72-2390
まーぶる (地域活動支援センター) Tel: 0745-75-6545
らそら Tel: 0745-70-1577
ライク (就業・生活支援センター) Tel: 0745-51-2001

災害時緊急カードを持っています!!

グループホームでは、災害が起こった時の避難訓練や避難グッズの常備など、いつ起こるかかわからない災害に対する準備を行ってきました。その中で、昨年作成したのが「災害時緊急カード」。折りたたむとカードサイズになり、携帯しやすいようになっています(写真)。災害伝言ダイヤルの使い方、避難場所や施設連絡先の他、本人の氏名・健康保険証番号、家族等の緊急連絡先、かかりつけ医や病名、服用している薬などの情報が書き込めます。

入居者とは「災害時には持って出る」と決めていますが、普段から携帯している人もいます。日頃からの備えが大切…



グループホーム

カードについては、通所している事業所の職員に尋ねてください。



高田
I77

みんなの思いを 形にして

マインドホーム高田

昨年の萌風香(秋号)でもお伝えしましたが、販売作業で配れるメッセージカードを作っています。アンケートなどで思いを集め、春過ぎには配布できるよう鋭意制作中です。マインドは『生活の拠り所』『安らげる所』『自分らしく作業できる所』。作業は『社会参加や仕事をする喜びを感じられる』『いろんな人との出会いがある』『作業をする事で充実感や達成感が得られる』などの声がメンバーから上がりました。『生活リズムが出来た』『落ち着いて作業ができるようになった』『工賃を貰うことで、お金の価値が分かった』『人との出会いが自分にプラスになった』など利用する前と変化もあり、得たものは少なくはないようです。障害があっても頑張って作業をしている様子が分かるようなメッセージカードにしたいと思います。

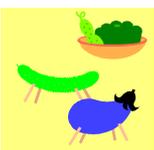
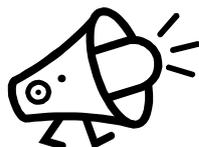
体験発表に参加

なつつ

3月17日、3市1町自立支援協議会の体験談発表に、地域活動支援センターなつつから2名が参加しました。「はじめは病気だと気付かず、病院に連れてこられて怒っていました」「病気になったことを、親のせいにしたりもしました」「寝てばかりいる自分に、悲観的になっていました」など、その時の自分の気持ち振り返り、話をしていました。参加者は「ドキドキしたけど発表出来てよかった」「振り返る事で本当の自分の気持ちに気付ける」と感想を話していました。



なつつ (生活支援センター)
Tel : 0745-23-7214
なつつ (地域活動支援センター)
Tel : 0745-23-8105
マインドホーム高田
Tel : 0745-23-8072



おかわり Tel : 0745-23-5625
えいぶる Tel : 0745-52-5752
咲咲 Tel : 0745-53-2233

指定障害福祉 サービス事業所 咲咲 (ささ) 誕生



(☆就労継続B型事業 定員10名)

咲咲

昨年までは、事業所の出張所として活動をしていたのですが、今年度からB型の事業所として、活動することになりました。

利用者からは、「出世たんや」と喜びの声(?)が聞こえています。ただ、事業所にはなりましたが、特別変わることはありません。今までどおり、「一般就労を目指している人には、就労支援を。」「目指していない人には、働く事の喜びを。」



また、生産活動は、今までどおり「レストラン咲咲」の事業を行い、その他の活動は…といいますと、これはゆっくり利用者と共に検討しながら、やっていこうと思っています。

レストラン事業が始まって、丸2年。事業も安定し、地域の人たちにも少しは知ってもらえるようになりました。今年度は、「事業所 咲咲」にとって、飛躍の年にしたいと考えています。

えいぶる

一年間のミーティングを振り返る

昨年度えいぶるは、お漬け物の商品化や、新たな内職への取組みなど、多くのことをメンバーミーティングで議論してきました。

一年間のミーティングを振り返りメンバーは話します。「司会や書記が全員に回るように当番制としたことで、みんなの参加意識が高まった」「自分の意見を言えるようになった」「多くの人の意見を聴くことがうれしい」「自分の意見が反映されたことがうれしい」「意見を自由に言い合える場になってきている」などなど、多くの意見が挙がりました。

以前は、決まった人しか発言しない傾向がありましたが、新たな事業を一から取りこんでいくことで、連帯感も高まっています。

今年度もメンバー職員とも、より一体となりえいぶるの活動を盛り上げていきたいと思っています!



Pit八木

檀原
I77

ぴあぼ〜と

非常勤さん着任と

奈良散策レク

2月2日から徳田さんが職員さんとして来られました。早速洗浄に入られて仕事は効率よく進み、ほかの職員さんと変わり代わりにはいられていましたが、4月から専属になられます。現在私たち Pit 八木のメンバーさんともずいぶん気楽にして、皆さんと共に活躍の場に励んでおられます。普段は気の優しい方ですが、仕事の現場では厳しさもあり、しっかりと指示されるので、結構しまりに締まっている実直なる Pit 八木です。

そして、2月18日には、Pit 八木の8名で奈良町散策と東大寺の大仏様を拝観に行ってきました。奈良についてすぐに奈良名物の巾着うどんを食べました。その美味さとお客さんの行列が次ぎから次ぎにできることに、これまで TV や雑誌で数多く紹介されてきたのが納得できました。奈良町の資料館は残念ながら休館日でした(苦笑)。しかし東大寺の大仏様の大きくて立派なお姿に感動しました。少し疲れましたが楽しい1日でした。♪



徳島・淡路島に上陸!!

恒例になりました、ぴあぼ〜との一泊研修旅行では沢山の収穫がありました!! 神宮前を出発して2時間、海が見える頃には普段の生活から離れ、自然と顔がほころびました。

一日目の施設見学は社会福祉法人ハートランド(就労継続支援B型事業所)へ行きました。商店街の中にあるお洒落な喫茶店でした。皆でランチや全国うまいもの大会で優勝したというロールケーキを堪能し、最初は居場所作りから始まったというスタッフや当事者の方たちの話を聞きました。その後は阿波踊り会館で現地の人達とひと踊り。

二日目は野島断層保存館・北淡震災記念公園に行き、生々しく残された震災の跡地を見たり、震度7の体験をしました。



イングランドの丘にも行き淡路牛を堪能。

良く学び、良く遊んだ2日間でした。移動

する度に確認し合う姿、お土産はどうしよう..とあちらこちらで飛び交う会話。帰ってからは「奈良も負けてられないな」とのつぶやきも。しっかりと研修されたメンバーさんでした。

そうだ！京都へ行こう♪



ひなた舎

2月末、少し暖かくなり初めて春の兆しを感じるころ、みんなで京都の清水寺へ行ってきました。

お土産通りの坂を上って到着したら、さっそく本堂へ。「ここが清水の舞台かぁ...」そこから見える京都の街並みは絶景でした。縁結びの神様で有名な地主神社にも立ち寄り恋愛成就を祈願し、音羽の滝や体内巡りでお祈りしたり、境内をぐるっと見てまわりました。



国宝の建築や自然に歴史と風情を感じました。

「ちょっとした旅行みたいやったねえ」ゆったりと大人の京都の旅を満喫してきました。

名前が変わりました

「相談支援事業所ひなた舎」の名称が

変わりました。新しい名称は、

「生活支援センターいろは」です☆

所在地、電話番号、ファックス番号には変更ありません。

ぴあぼ〜と(生活支援センター) Tel: 0744-27-4152

ぴあぼ〜と(地域活動支援センター) Tel: 0744-27-4175

Pit 八木 Tel: 0744-21-5666

いろは(生活支援センター) Tel: 0744-32-7753

ひなた舎 Tel: 0744-32-7745

祝！！ 受賞おめでとうございます。

このたび地域活動支援センター「ふらっと」と「ぴあぼ〜と」を利用している榎田伸也さんが第7回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)を、井上和哉さんが第29回榎原わたぼうしコンサートでご自身の詩が地元入選曲として、曲が付けられ発表されました。

榎田さんが受賞された精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)は、精神保健福祉に関して長年にわたり、医療、福祉に従事し、地道なご苦勞を重ねられている方々や、困難な状況を克服して社会参加を果たされた精神障害当事者の中から、特にすぐれた活動をなさっている方を支援するための制度です。この支援制度を通して、精神保健福祉に貢献されている方々の姿を広く社会に紹介することで、医療と社会の環境整備や充実に寄与し、精神障害(特に統合失調症)に関する一般の人たちの理解を深める一助となることを目的としています。(イーライリリー社のホームページより抜粋)榎田さんは、ご自身の発病から現在に至るまでの体験をもとに、講演や詩集の発行、紙芝居や「こころかるた」など様々なツールで体験談を伝えていく活動とJR・大手私鉄への精神障害者運賃割引を実現する会「レールネットワーク」、学校教科書に精神疾患の記述の復活を求める奈良県当事者の会「リメーテ」を立ち上げ、活動していることが評価されました。



井上和哉さんが入選された榎原わたぼうしコンサートは、障害のある人たちが綴る「心の詩」にはいのちの尊さや生きることの喜び、そして人間のすばらしさなど様々な思いが込められています。「わたぼうし」はそんなメッセージをメロディにのせて伝えることで、誰もがいきいきとその人らしく輝きながら参加できる社会をつくらうとするコンサートです。地元入選曲は奈良県内に住む障害のある人の詩と、詩にぴったりの素敵な曲を公募しました。(チラシより抜粋)当日舞台上でインタビューを受け、ご自身の「16才の烙印」が演奏されている間も舞台上でリズムをとりながら、堂々とされていました。



♪ 新人職員紹介 ♪

平成23年度、新しく8人の職員が加わりました！！

3月に実施した新任者対象のオリエンテーション(法人の成り立ちや理念、組織を知ること、社会人マナーを習得することを目的とした講義を受け、グループディスカッション)で、それぞれ2グループに分かれてまとめた、どんな仕事をしたいのか、そしてその言葉にこめたフレッシュな想いを、新任者の意気込みとして紹介します。

「私たちは顔の見える仕事をしていきます」

…発信する力が必要。新人8人いれば一つの提案をしていける。当事者やご家族からのニーズを自分たちだけでとどめるのではなく、地域や社会の人にも知ってもらえるよう、発信していきたい。(黒田・佐々木・中野・山西)

「私たちは想いをカタチにしています」

…「想い」というのは、利用者やご家族のニーズ、地域の人、自分たち、色んな人の想いをさしている。それらをカタチにしていける仕事をしたい。(竹内・中尾・中道・堀川)

～よろしくお願ひします！！～

なかお しずか
中尾 静香
(地活ぴあぼ〜と)

ささき けいた
佐々木 啓太
(地活コスモールいこま)

たけうち やすよ
竹内 安奈
(らそら)

ほりかわ ゆう
堀川 宥
(マインドホーム高田)

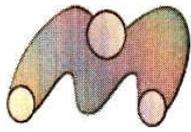


くろだ まゆこ
黒田 真有子
(地活なっつ)

なかの まさや
中野 雅哉
(えいびる)

なかみち えり
中道 恵理
(ライク)

やまにし のりよ
山西 紀律代
(地活ふらっと)



Moe～萌～
Mentalhealth～心の健康～
Messageboard～伝言板～

「萌 後援会」からのご案内

後援会は「社会福祉法人 萌」を支援して戴ける皆様を募集しております。後援会の主な目的は、法人 萌に対する事業の支援や寄付を行っています。

詳しくは「萌」のホームページをご覧ください。(アドレス変更)

<http://www.moe.or.jp/>

後援会事務局(地活ふらっと内)
0743-54-0821(相川)

ボランティアグループ すずめ

ボランティアグループすずめでは、メンバーさんと一緒に、お茶会や遠足をしています。生駒地域で一緒に活動して下さる方を募集しています。

生駒市精神障害者施設後援会

(通称: ひだまり後援会)

「トーク&ライブひだまり2010」に多数のご来場いただき、有難うございました!

生駒市内にある精神障害者施設の財政的支援を啓発活動をしています。
年会費一口 2,000 円から。新規会員募集中。
お問合せ: 地域活動支援センターコスモール
いこま 0743(73)0900(桑原)

ハートフルこおりやま

(精神障害者の社会参加をすすめる会)

はーとふる市の日程が決まりました!
5月21日(土)10:00～ 地域活動支援センターふらっととと彩食キッチンBon の敷地内で行います。焼きそばやフランクフルトなどの出店、ステージ発表などイベントが目白押しです!! たくさんのご来場をお待ちしています。世話さん随時募集中です。お問合せ: 地域活動支援センターふらっと 0743(54)3977(四ヶ所)

ボランティアグループつぼみ

☆つぼみヨーガ☆

活動 10 周年を越えた「つぼみ」です。これからも宜しくお願いします!!
つぼみヨーガの日程は、4月20日(水)・5月18日(水)・6月15日(水)の第3水曜日です。心も体もリラックス...です

すみれ会(葛城地域家族会)

*基本的に第3日曜日に行っています。
場所: 大和高田市中央公民館

のぞみ会(地域家族会)

*基本的に第2日曜日に行っています。
5月8日(日)13:30～
場所: 県心身障害者福祉センター
お問合せ: 0744-27-4152(びあぼ〜と)

ひだまり会(生駒地域家族会)

*基本的に第3土曜日に行っています。
場所: ボランティアセンターららポート
時間: 13:30～
連絡先: 0743-73-0900(コスモール)

西和家族会(地域家族会)

*基本的に第4土曜日に行っています。
時間: 13:30～
場所: 王寺町中央公民館

さくら会(大和郡山地域家族会)

*基本的に第3日曜日に行っています。
場所: 三の丸会館円卓ルーム
時間: 13:30～

※上記、家族会・ボランティアグループの内、連絡先の記載がない団体へのお問い合わせがありましたら、萌風香編集部までご連絡ください。

萌のホームページが 新しくなりました☆



10周年記念事業としてリニューアルをすすめていた萌ホームページができあがりました。法人の総合トップページから事業部門別や地域別に各事業所のホームページにつながりますし、とても見やすくわかりやすいものになっています。ご自宅や、利用されている事業所のパソコンから、

<http://www.moe.or.jp> で今すぐ検索!



株式会社アルバの小林様にはお忙しい中、知力・気力・体力(?)フル稼働で、大変お世話になりました。ありがとうございます。この場を借りてお礼申し上げます。

～編集後記～

冬の寒さが和らぎ暖かくなってきました。皆様はいかがお過ごしでしょうか?今年、萌は法人設立10周年を迎え、萌風香も気づけば32号を発行するまでになりました。これも皆さまに愛読して頂いたおかげです。ありがとうございます。

今号から、皆さまに各事業所の少しでもホットな動きや福祉の情報等、お伝えできればと思います、萌風香紙面をリニューアルしました。

感想、ご意見などありましたら、萌風香編集部(ふれあい工房内 Tel0743-54-6701/Fax0743-54-6731)まで寄せて頂ければ、幸いです。

萌風香編集部一同